

ひめゆり

「忘れたいことを話してくれてありがとう。
「忘れちゃいけないことを話してくれてありがとう。」

Cocco 歌手



『ひめゆり』

6/21 [土]
~6/27 [金]

『森聞き』

6/28 [土]
~7/4 [金]



生きたまま嫌いのじやないのよ

山の世界つて
宇宙人だな

もりき



柴田昌平 監督作品

長編ドキュメンタリー映画

2週連続上映

Tokyo Docs/パートナーズ上映

もう忘却のあなた？

監督 柴田 昌平

6月23日は沖縄慰霊の日。ドキュメンタリー映画『ひめゆり』は2007年の公開以来、ポレポレ東中野で毎年上映を続けてきました。2011年3月11日のあの時間は、映画『森聞き』が上映の最中でした。映画に登場する高校生がインタビューでつぶやいた言葉、「何か、今、世界が変わる時期に来ている気がする……」。震災後は多くの人の意識が変わりました。自分たちはどこへ向かうのか、何を大切にするのか、考えるようになったはずでした。大きな歴史のうねりが政治から起ころうとしている今、私たちの記憶の伝承は、忘却のあなたに消えるのか……？

宮本亜門さん(演出家)

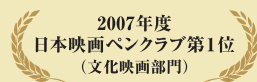
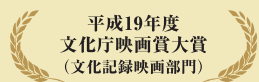
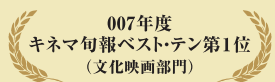
私の一生のお願いです。「ひめゆり」を観てください。
出来れば世界中の人に観てほしいのです。
次の世代に伝えてほしい、現実を感じてほしい。
心ここに詰まっているからです。

ひめゆり



太平洋戦争の末期、沖縄では日本軍と米軍による住民を巻き込んだ地上戦が展開されました。現在の中高校生にあたる10代の女子学生222名が、看護要員として戦場に駆り出されました。多くの犠牲者を出した「ひめゆり学徒隊」の生存者22名の証言を13年に渡って記録したドキュメンタリーです。戦争のむごさと共に、命の輝きを伝えます。

2007年 / 130分 / 製作・配給:プロダクション・エイシア



他

記憶は、その人のもつ時間とともにあります。
放っておくと、その人とともに消えてしまいます。

三浦しをんさん(作家)

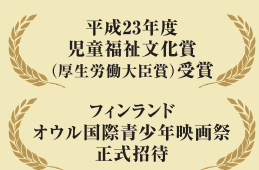
こういうひとたちがいるから、
この世界は希望をもつて生きるに値する。
どうともおもしろい映画です!

森聞き



自然は多くを語る—— それを聞き分ける者の言葉は深い。木こり、焼き畑、茅葺き…。自然の恵みを活かし生業(なりわい)としてきた「森の名人」たちです。一方、便利な物に囲まれて不自由なく育ったはずの高校生たちは、漠然とした不安を抱え、未来に確かなものを感じられずいます。進学や就職、人生の岐路に立つ高校生と名人の世代を超えた交流を見つめました。

2010年 / 125分 / 製作・配給:プロダクション・エイシア



柴田昌平監督作品 2週連続上映 1日1回上映 連日10:20~

毎年恒例「沖縄慰霊の日」特別上映 『ひめゆり』6/21[土]~6/27[金]

『森聞き』6/28[土]~7/4[金]

当日券:一般・大学専門・シニア1,300円 / 高校生以下500円
(障害者料金の割引はありません。)

『ひめゆり』
特別鑑賞券1,000円
劇場窓口・チケットぴあ(Pコード465-606)にて発売中

半券割引実施!
『ひめゆり』ご鑑賞時の半券提示で
『森聞き』が1,000円でご鑑賞頂けます。

ポレポレ東中野

TEL 03-3371-0088 <http://www.mmjp.or.jp/pole2/>

JR東中野駅西口北側出口より徒歩1分 地下鉄大江戸線A1出口より徒歩1分

